

所 報

◆第3回参与会の開催

研究所は去る2月14日午後0時半から帝国ホテルにおいて第3回参与会を開催し、研究所の昭和36年度予算案および建設を予定している研究所ビルの概要について説明を行なった。

◆研究所ビル建設基金募集について

かねて研究所では、研究所ビル建設のための寄付金を法人税法上の免税扱いの寄付金の指定を受けられるよう大蔵省に申請していたが、2月18日付けで許可になった。なお建設基金の募集については石坂経団連会長、足立日商会頭、太田垣関西電力会長の3氏に募金世話人を依頼し、近く募金開始の予定である。

◆昭和35年度研究委員会主査会議および委託研究に関する打ち合わせ会開催

1月16日正午より学士会館において昭和35年度研究委員会主査会議を開き、各委員会の進捗状況について報告があった。また1月30日、2月6日の2回にわたって昭和35年度の個人研究および特別研究の受託者との打ち合わせ会を行なった。

◆総合目録編さん事業

第1年度マイクロ化作業は昨年8月末の東京外国語大学付属図書館から本年1月末の東京大学東洋文化研究所まで13機関・4万580枚のカードのマイクロ化を終了し、現在その編集にとりかかっている。昭和36年度にはその第2年度として20機関より約7万枚のカードをマイクロ化する予定である。

◆資料協力委員会

資料活動面における相互協力につき、関係機関(13機関を予定)の助言を求めめるために、第1回の資料協力委員会を3月24日に開いた。

◆資料技術委員会

昨年10月20日に発足したこの委員会は、UDCと機械化の2つの分科会に分かれすでに18回の委員会を開き、3月末には上記テーマについての結論を所長に答申することになっている。

◆資料収集のための現地実態調査

昭和33、34年に引き続き、現地の資料事情を調査しあわせて資料を収集するため、東南アジアへ2名、中近東・アフリカへ1名の計3名が昨年末より本年初めにかけて約75日にわたって派遣された。

◆リーディング・サークル発足

このたび研究所では、研究所発行の各種報告書の閲読を通じてアジア経済に関する理解を深め研究水準を高め

ることを目的としてリーディング・サークルを設けた。期間は約3カ月、官庁、財界の実務担当者、研究者や10名を1サークルとし、既刊「インド開発と資金問題」、「インドネシア貿易流通機構」、「中国経済の統計的研究」、「西ドイツの東南アジア経済政策」の4冊をテキストとしてそれぞれ発足した。各班は自主的に選出されたチューターを中心に運営される。

◆午 餐 会

研究所は2月22日、工業クラブにおいて帰朝中の元ビルマ大使原馨氏を招き約40名が出席して午餐を共にしつつビルマの現状について講話を聞いた。

◆「アジア経済」公開講演会開催

研究所は3月14日午後1時から4時まで、東京商工会議所ホールにおいて商工会議所と共同主催、日本経済新聞社後援で「アジア経済」公開講演会を開催した。東畑所長の挨拶につづき一橋大学教授板垣与一氏の「後進国開発・援助問題の視点」、世界経済調査会理事長木内信胤氏の「A・A諸国の動向と国際政局の展望」の講演があった。聴衆はやく440名であった。

◆海外派遣員の出張について

海外派遣員は下記のとおり滞在地周辺に出張して、それぞれの現地事情調査を行なうことになった。

氏 名	滞 在 地	出 張 先	目 的	期 間
清水 茂	香 港	バンコック	華僑の言語生活および教育事情調査	3/20～ 3/27日
森 田 一	メルボルン	ニュージーランド	ニュージーランドの経済事情調査	3/20～ 3/30日
関 寛 治	バンコック	タイ国内	タイ国内の農業事情調査	3/20～ 3/31日
尾上 悦	香 港	台 湾	砂糖さび栽培状況調査	3/ 6～ 3/23日

建設予定のアジア経済研究所ビル



コンクリート造り・地上5階・地下1階・建坪2280坪